

初日の午後の議論から

県民健康調査

ご協力いただく
県民を
増やすには

県民健康調査への エンロールメント

どうするとよいのか？

保育施設は何が貢献できるか？

そもそも調査はどうあるべき？

調査の位置づけ
見守り?
科学的な知見を得る?

そもそも調査は
どうあるべき?

検診の意義の理解?

調査への受診支援には、
どのような情報が有用?

保育施設が貢献できることは?

そもそもこのようなことの
検討の場は?

- 受けたかどうか
- 結果がどう説明
されているのか
を保育施設等も把握
できているとよい?

協力したいが
負担が増えて
しまうのでは...

調査の質vs 行政サービス

個人別の追跡データの方が
質はよいが...

精密検査での細胞診後は保険診療
となるがそのことが知られていなさそう...

科学的な調査研究
としてだけではなく
行政サービスとして
も行う必要がある

実態を知る
判断材料を提供してもらう

困ったときの気軽な相談相手 誰かいますか？

- ・ 所内で相談
- ・ 医師（医療機関内保育施設の場合）
 - 園医
 - その他の医師（放射線科医）

研修会をどうする？

何をより学びたいですか？

1. 放射線の基礎
2. 現場での放射線問題
3. 県民健康調査
4. 子供の発達・遊び支援
5. 他の施設の取り組み
6. メンタルヘルス
7. コミュニケーション
8. 行政の施策

その他、研修に望むことは？

研修で学んだことを
園内で伝えるのが
大変...